



河合克平 議員

子ども医療費の負担ゼロを求める

質問

「子どもの健康を考えると早期治療したいが、家計のことを考えるとできない。子ども体のことを思うと心配だ。一日も早く、完全無料化を実現し、子どもの健康の不安を解消してほしい」「このまま中学校卒業まで完全無料化にならないのなら、富市に引越そうと考え中だ」という市民の声を代表して、子どもの医療費の中学校卒業までの完全無料化を一日も早く実現するよう求める。

愛知県内の自治体で、中学生への医療費の助成をしている

質問

子育て世帯だけ、税金の負担が増えた。年少扶養控除の

市長

医療費の無料化については愛知県で一番遅れている状況になるが、保育料が安い、児童クラブの事などトータルで考えていかなければならない。

ないのは、平成27年度より江南市が拡大するため、愛西市だけとなり、愛知県下で一番遅れた自治体となる。市の見解は。

廃止に伴う増収分を、子育て世帯が切望する中学校卒業までの医療費無料化のために使うことは、市民感情から当然のことではないか。

総務部長

税金の増収分は、一般財源として扱うので、福祉だけでなく、庁舎建設の財源にも一部充当している。

質問

子育て世帯は、増税になっており、財政的に大変な状況

安全で利用しやすい佐屋駅整備を

質問

「佐屋多度線が混雑し、駅前広場が狭くて危険。北へ抜ける道を拡幅して混雑を緩和してほしい」「北側の細い路地が危険。通学路であり、その時間帯は車両通行止めにしてほしい」「駅の東からは、乗車口に行けない。勝幡駅のように、線路の反対側からも乗車できるようにしてほしい」

なので、子育て世帯の支援の拡大が必要ではないか。

市長

全市民が、安全で豊かに暮らせる愛西市のため、持続可能な市政を進めていく。

「という市民の声が寄せられている。佐屋駅前整備計画予備調査の結果について報告を求める。」

経済建設部長

駅の東西に駅前広場をつくり、県道佐屋多度線を鉄道の下をくぐらせるといふ都市計画があった。諸手続き、事業費が莫大であるので、早急な

質問

整備は困難である。暫定的にでも早急に危険な状況を減らしていくことが必要ではないか。

経済建設部長

有効な補助事業を勉強しながら都市計画の変更も踏まえ総合的に考える。

